

大神公民館だより

大神公民館のウェブ

平塚市立大神公民館

検索

平塚市立大神公民館広報紙
平塚市大神2391-1
☎55-5040 FAX51-1366

令和5年6月発行 No.3



浴衣着付け教室



七夕まつり や 夏まつり に向けて
浴衣のキレイな着方、帯のアレンジの仕方を習ってみませんか？
親子での参加、お友達と一緒に参加など大歓迎です♪

- 日時 7月1日(土) 10時00分~11時30分
- 場所 大神公民館 2階和室
- 費用 無料
- 対象 大神地区在住の幼児~シニアの方どなたでも
- 定員 10名(先着)
- 申込み 大神公民館へ直接または電話(55-5040)でお申込みください。
- 講師 鈴木 カツ子 氏
(全日本着物着装コンサルタント協会講師、大神公民館運営委員)
- 持ち物 浴衣・帯・腰ひも (大人の方で無い方はご相談ください。※子ども用はご持参ください。)

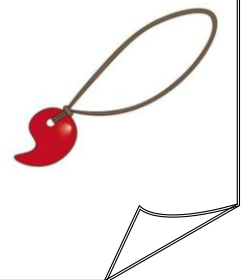


勾玉づくり教室



夏休み考古学体験！滑石を使ってオリジナルの【勾玉ネックレス】を作ろう♪

- 日時 令和5年7月28日(金) 10時~12時
- 場所 大神公民館 文化活動室
- 対象 大神地区在住の小学生(1,2年生は保護者同伴)
※講座中、保護者は部屋内には入れません。(1,2年生の同伴の保護者は可)
- 定員 20人(先着)
- 費用 1人 250円 ※当日お支払いください。
- 申込み 大神公民館へ直接または電話(55-5040)でお申込みください。
- 講師 平塚市社会教育課
- 持ち物 軍手、ポロ布、タオル、筆記用具、水筒(飲み物)
汚れてもよい服装(エプロンやスモックなどがあればご用意ください)
マスク(石を削る際に粉塵が出ますので着用をおすすめします)



大神地区長寿会

【会員募集のお知らせ】



大神地区長寿会は絆を深め豊かな生活の実現と老後の生きがいを
図り地域社会の推進に寄与することを目的としています。

大神・吉際地区の居住されている60歳以上の方を募集しています。

私たちと楽しくシニア時代を過ごしませんか。



<連絡先>

金子 勇雄 55-5552

秋元 芳美 55-7803

地名の歴史と由来特集【大神・吉際編】

地域内でよく聞く地名の由来について、バス停や交差点の名前などでよく聞くものを中心にご紹介
したいと思います。なお、地名の由来は諸説ありますので、一つの参考としてご覧ください。

大神は、相模川のほとりを示す大川辺が転じて大上となり、のちに大神となったという説があります。
1548(天文17)年の真芳寺宛文書に「大神」の表記がみられます。余談ですが、相模川に架かる
神川橋(かみかわばし)は、**大神**と寒**川**から一字ずつ取った名前です。

墨染(すみぞめ)は、徳川家康が真芳寺を訪れた際、自ら指図して朱印地を与えたことから「杖先
き御朱印地」と称したことに由来します。

笠張(かさはり)は、たしかな由来は不明ですが、「かさ」は上の方、「はり」は張り出すという言葉
に由来し、上の方に張り出したという意味ではないかという説があります。または、「はり」は墾(はり)
や原に由来し、上の方の開墾地という意味ではないかという説もあります。

柳の内は、詳細は不明ですが、柳の生えて
いる地域という意味と思われます。

吉際は、中世に大上郷の住民が荒れ地を
開墾し、葎(よし)が生えた場所に困んだ葎際
(よしぎわ)と称したことに由来すると云われま
す。また、江戸幕府作成の元禄15年改定図に
「大神村枝郷吉際村」とあり、大神村から分村
したと思われます。1889(明治22)年に田村、
大神村、吉際村が合併して

神田村が誕生した際には、神田村の大字の
1つとなり、1956(昭和31)年に平塚市と合
併した後も引き継がれました。



富士見十三州輿地全図<1842(天保13)年発行>

❀大神公民館からのお知らせ❀

8月分の公民館利用申込受付は、**7月3日(月)午前9時**からです。



この印刷物は大豆インクと再生紙を使用して作成しました。